

広報

# しんじょう

9  
2011

SHINJO PUBLIC RELATIONS No.645

ホームページ <http://www.city.shinjo.yamagata.jp>

メール [info@city.shinjo.yamagata.jp](mailto:info@city.shinjo.yamagata.jp)

ホームページ検索

検索



特集

「新庄市まちづくり総合計画」

子育て・人づくりプロジェクト

しんじよさ、あべー部長

三浦友加さん任務開始しました

頑張ろう、東北。

新庄市は、東日本大震災の復興を支援します。

# 特集

## 新庄市まちづくり総合計画・重点プロジェクト

# 子育て・人づくりプロジェクト

新庄市まちづくり総合計画(第四次新庄市振興計画)は、社会経済情勢の変化に的確に対応し、住みよい地域社会を構築していくための、今年度から十年間にわたる市政運営の基本指針となる計画です。その中で定めた市の将来像は「自然と共生 暮らしに活力 心豊かに笑顔輝くまち 新庄」。この将来像を実現するため、「子育て・人づくり」「雇用・交流拡大」「安全・安心充実」の三項目を重点プロジェクトに位置づけました。市報では、今年度三回に分けて、各重点プロジェクトの具体的な取り組みを紹介していきます。

### ■新庄市まちづくり総合計画

#### 重点プロジェクト

#### 「暮らし、定住、未来創造」

人々の豊かで活力ある「暮らし」と、そこから導かれる「定住」は、市が目指すべき将来像を実現するために、重視すべき要素です。

また、全国的な人口減少社会にあつて、限られた経営資源を「選択と集中」により、効率的かつ効果的に施策展開することが今後さらに求められます。

このため、今後十年の計画期間において、各分野にわたる全体的な政策体系の中で、次の三つのプロジェクトを重点プロジェクトと位置づけ、重点的、総合的に取り組むことにしています。

### ■雇用・交流拡大プロジェクト

暮らしを守り、住みよさが実感できるまちを創っていくには、定住の基本となる「働く場」の確保と交流の拡大による活力あるまちづくりが求められます。

農業をはじめとした基幹産業の振興や優良企業の誘致、農工商連携による付加価値の高い農産品・商品の生産、地域に根ざすものづくり産業の振興を図るとともに、雇用の場の拡大に取り組めます。

また、新庄まつりをはじめとする歴史・文化、自然や食などの地域の観光資源の魅力を発信し、都市との交流を進め、多様な交流を広めていきます。







**平成23年度こんな事業に取り組みます。**

- 雇用・交流拡大プロジェクト
- 1 若者園芸実践塾事業
- 安全・安心充実プロジェクト
- 2 小中学校施設耐震診断事業、耐震補強工事実施設計事業(写真は昨年度耐震補強を行った新庄小学校)
- 3 凍結防止剤散布車整備事業、沖の町・中山町地区流雪溝整備事業、五日町金沢線消雪施設整備事業などの克雪対策(写真は昨年の除雪車出発式)
- 子育て・人づくりプロジェクト
- 4 外国語教育推進事業(7年ぶりにALTを配置)
- 5 地域公民館整備事業(助成を受けて末広町公民館では屋根の塗装などを実施しました)

特に、雇用や新たな産業の創出については、産業・医療・保健・福祉・教育・都市基盤整備・環境など、あらゆる分野において取り組んでいきます。

**安全・安心充実プロジェクト**

市民が安心して永く住み続けるには、安全・安心な暮らしを支える仕組みとしての保健・医療・福祉・防災などの体制と、快適な生活環境の整備が不可欠です。健康診査の推進・疾病予防の充実・運動機会の提供、介護サービス充実などの高齢者支援、地域の自主防災組織づくりへの支援に取り組めます。

また、冬の快適な生活を実現するための克雪対策、良好な水環境を保全するための生活排水処理対策の充実を図ります。さらに、高齢社会に対応するデマンド交通システムを導入し、地域交通の利便性を高めていきます。

**子育て・人づくりプロジェクト**

本市の将来を担う人材の育成は、まちづくりの根幹をなすものであり、子育て・教育環境の一層の充実が求められます。

子どもたちの健やかな成長を支援するため、安心して働ける



ら子育てできる環境の整備、医療費助成の拡充による経済的負担の軽減、妊婦健診を充実させるなどの母子保健の推進に取り組めます。

また、子どもたちの命を大切に思う「心の教育」の充実、小中一貫教育の推進、郷土愛を育む「ふるさと学習」、地域の学校づくりの推進に取り組めます。

さらに、地域活動の中心となる人材・リーダーの育成、貴重な自然環境を守っていくための環境教育・環境学習の推進に取り組めます。

**プロジェクトの具体的な取り組み**

各プロジェクトでは、将来像を実現するために、まちづくりの重要課題に基づき、今後さまざまな具体的事業に取り組んでいくこととなります。

今回は、三つの重点プロジェクトの中から「子育て・人づくりプロジェクト」を取り上げ、取り組みの事例として、子育て支援に関する取り組みと、旧山屋小学校施設活用事業について紹介します。



# みんなで子育て支えます

～「地域子育て支援センター」機能の充実～

## ■地域子育て支援センターの役割

核家族化、都市化、女性の社会進出等により家庭を取り巻く環境が大きく変化してきた中、子育てに負担感や不安感を抱く家庭や、助言や支援を必要とする家庭が増えています。このような状況に対応するため、平成十二年五月に新庄地域子育て支援センターが設置されました。

地域子育て支援センターは、中心商店街の中にあり、屋内型のあそびの広場である「わらすこ広場」と機能を一体化して、新庄地域の親子、保護者、すべてを対象に、専任の保育士が育児の悩みな

## 市内の子育て支援センター

名称	実施場所	開設日
新庄地域子育て支援センター	わらすこ広場に併設	6日/週
パリス保育園 パリス子ども文化センター	パリス保育園	5日/週
新庄保育園 ぴよクラブ	新庄保育園	3日/週

どについて相談に応じ、助言や指導を行っています。さらに、子育てサークルの支援と育成、保育に関する情報提供などの活動も行っており、市報でも毎月「わらすこ広場すくすくナビ」の中で子育てに関する情報を発信しています。

また、地域の子育て支援情報を収集・提供し、育児相談をはじめ子育て全般に関する専門的な支援を行う拠点施設としての機能を担っています。

現在、市内には「パリス保育園」と「新庄保育園」の二つの民間立認可保育所がありますが、それぞれに子育て支援センターが開設されています。こちらでも、育児相談や親子の交流の場を提供しています。

## ■地域における子育て支援サービスの充実に向けて

地域子育て支援センターでは、次の施策を推進し、支援の充実を図ります。

- ①「みんなで子育て支えます」を基本方針の合言葉として、地域子育て支援センターを地域の子育て支援機関の中心として位置付け、機能充実を推進します。
- ②子育て支援のためのネットワークづくりを推進し、情報の提供機

能を充実させます。

③子育てサークルの育成を継続するとともに、保育ボランティア等の子育て支援者や団体と連携した活動を発展させていきます。

④公民館や保健センターにおいての「あそびの広場」や「巡回相談」の周知を拡大し、多くの人に利用してもらえよう環境を整えます。

⑤子育てなどの相談窓口をより親しみやすく信頼のおけるものとするために専任の保育士や相談員を配置するなどの人的な配置を充実していきます。また、母子健康相談、養育相談について、保健センターなどの関係機関との連携による充実を図ります。



# 子育て・人づくりプロジェクト

私たちが子育てをサポートします。

◎市地域子育て支援センター  
22-5115  
毎日の育児の中で悩んだとき、  
どうしていますか。  
お母さんひとりで子育てを背負うのは大変です。周りの人に頼りながら、支え合って子育てを楽しんでいきたいと思います。  
子育てがうまくいかないひとりで悩まず、子どもを遊ばせながら、専任の保育士に相談したり親同士で情報交換をしたり、少しでも悩みの解消に役立ててください。  
市地域子育て支援センターでは、親子の触れ合いや親同士の交流などの目的で、さまざまな内容で月一回「めぐりめぐり子育て講座」を企画しています。また、保健センターや地区公民館などで「あそびの広場」を実施し、巡回相談も行っています。ぜひご利用ください。



市地域子育て支援センター職員です。「わらすこ広場」で待ってます。

## 利用している方の声

みんなに会うのが楽しみです!



軽部美貴子さん(万場町) / 左  
田苗美喜さん(金沢新町) / 中央  
中島明美さん(城西町) / 右

同じ時間帯にわらすこ広場を訪れることが多かったことから、仲良くなった皆さん。親子ともわらすこ広場に来るのが楽しみとのことでした。

「わらすこ広場では、子どもを遊ばせるのはもちろんですが、お母さん同士も会話が弾んで親子でストレス発散になっています。

子育て支援センターの先生とも、子どもの日常のことなど構えることなく話ができます。先生たちは日ごろから子どもたちが遊ぶ様子をよく見ていて、一人一人の子どもの行動や性格などわかっていてくれるのでとても安心感があります。

今の子育てでは、他人の子どもは怒れないと言いますが、わらすこ広場では悪いことをしたら、他人の子どもでも叱ります。そういう意味でも子どもたちにとって親以外の大人に接する場所になっていると思います。こんなに広くて、子どもの年齢制限もなく遊べる施設は近くにはなく助かっています。

希望を言えば、小さな子どもでも本を遠慮せず選べるような図書の貸し出しコーナーを備えた施設があればうれしいですね。それから駐車場がもう少し広いと、もっと多くの親子が訪れると思います。わらすこ広場の良さをみんなに知ってもらい、たくさんのお母さん親子でさらににぎやかにしてほしいですね」

誘い合って来ています!



佐藤千里さん(飛田) / 左  
佐藤利恵さん(下西山) / 右

仲良しママのお二人は、子どもも同い年の3歳と1歳。わらすこ広場にも誘い合わせて一緒に来ることが多いそうです。

「わらすこ広場には週に1回くらい遊びに来ています。子育て支援センターの先生方も話しやすいので、先生との会話の中で子育てのことなどを話題にして、アドバイスをもらったりしています。

子育て講座にも積極的に参加していますが、子どもたちを遊ばせるだけでなく、親たちが親しくなるきっかけや、交流の場にもなっているので、もっと回数が増えると、親同士の交流の機会も増え、子育ての情報交換にも役立つと思います。

月2回保健センターで行われるあそびの広場にも参加していますが、そこでも子どもを遊ばせながら保健師さんとお話できたり、子どもの身長、体重を測ってもらえたりするので利用しています。できれば場所を変えずに、わらすこ広場で実施してもらえると、なお助かります。

子育てに関するサービスがせっかくあっても、情報を知らなくて利用していない方も多くいると思います。子育てで忙しく情報を得る機会が少ないお母さんたちにも情報が行きわたるよう工夫してもらえると嬉しいと思います」



# 閉校校舎の活用で 地域の思いがひとつに

～山屋セミナーハウス10月開所予定～

平成22年3月をもって閉校した山屋小学校。現在、宿泊機能を有した教育的・文化的施設「山屋セミナーハウス」に生まれ変わるための改修が行われています。これまでの施設活用についての検討経過と、10月の開所予定に向け準備が進められている施設の概要を紹介します。

## ■山屋小学校の閉校と施設活用に向けて

児童数の減少が続き、複式学級が恒常化して集団学習の取り組みが困難になっていた山屋小学校。教育環境のあり方について地域を挙げて協議・検討を行った結果、新庄小学校に統合し平成二十二年三月をもって閉校することになりました。

閉校を目前にした平成二十二年二月、山屋地区では住民の意見を集約し、教育的・文化的な施設活用であってほしいとの考えを示しました。教育委員会ではこの意見を踏まえ、さらに活用の幅を広げる考えから宿泊機能を付加する方向で検討していくことになりました。

## ■施設活用の方向性

旧山屋小学校の建物は昭和六十年一月に竣工し、新耐震基準に沿って建てられています。耐震対策などの手を加える必要がなく、また、建物の機能という面からも非常に整ったものであり、今後も活用できる施設です。

立地的にも、奥羽金沢温泉や農村環境改善センターが近く、南に行けば東山運動公園があります。また、空蔵山への登山口も山屋地

区にあり、豊かな自然環境を利用したアウトドアスポーツのフィールドとしても利用価値が高い地域といえます。

このような特長を持った旧山屋小学校の活用について、市では次のように考えました。

- ① 宿泊機能を持った教育的・文化的施設として活用する。
- ② 幅広い分野の活動に柔軟に対応する施設運営を目指す。
- ③ 体育館・グラウンドなどの付属施設の効果的活用を図る。
- ④ 子どもたちを中心に据えた文化伝承活動への支援を行う。
- ⑤ 地域との連携を図り、地域の持つ力の活用を図る。
- ⑥ 周辺施設との連携を図る。

## ■東山スポーツハウスの後継施設に

現在宿泊機能を備えた市の施設としては、東山スポーツハウスがありますが、築四十年を超え老朽化が目立ち、今後の使用の継続は難しい状態でした。そのため、旧山屋小学校を東山スポーツハウスの機能を拡充した後継施設として活用し、スポーツ合宿などを受け入れることのできる、厨房や食堂、浴室を備えた施設へと改修を行っています。

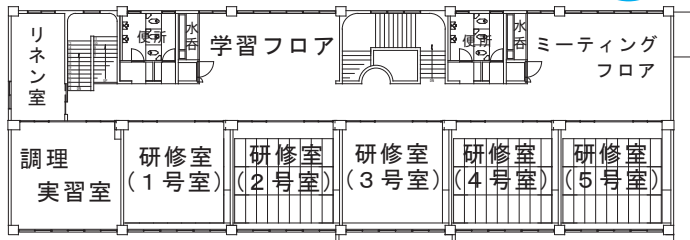
旧山屋小学校から  
山屋セミナーハウスに生まれ変わります

内覧会のお知らせ

9月29日(木)、30日(金)  
午前9時から午後4時  
まで自由にご覧  
いただけます。

研修室は、各室18人まで宿泊可能です。図書コーナーや学習スペースを備えた学習フロアなどが設置されます。

2階



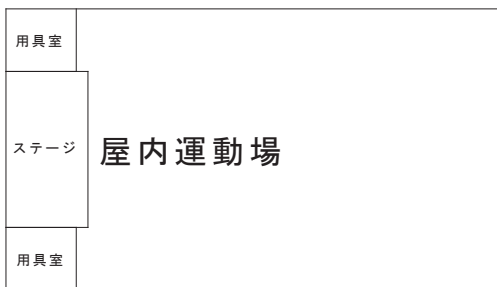
1階



約10人が同時に入浴できます

地域開放型の交流サロンになります

約100人が利用可能な食堂に改修されます



山屋セミナーハウス愛称募集!

山屋セミナーハウス(旧山屋小学校)に親しみを持って利用してもらうため、施設の愛称を募集します。

●募集締め切り/9月16日(金)

◎詳しくは、生涯スポーツ課へ。☎内線471

■山屋地区との連携

山屋地区では、小学校から子どもたちの歓声が聞こえたように、子どもからお年寄りまでみんなが楽しく集えるような施設にしてほしいとの地域の考えを示しました。また、施設活用のさまざまな場面で、地域が関わっていききたいという姿勢も示されました。

市では、地域コミュニティの活性化を図るため、各地域の地域づくり活動を支援し、さらに地域活動の中心となる人材育成などに取り組み、地道に考えています。そこで、山屋セミナーハウスにおいても地域との連携や、地域住民の施設利用について検討し、地域づくりにも活用してもらいたいと、セミナーハウスの中に地域開放型の「地域交流サロン」を設けました。

山屋地区では、昨年度新たな地域づくりを考えるワークショップを開催し、多くの住民が参加しました。これを機に地元への関心が高まり、地域内の話し合いの場が生まれました。今後も、この山屋セミナーハウスを拠点に、地域活動がさらに活発に行われ、地域の人材育成にもつながっていくものと期待されます。

山屋地区住民の思いを乗せた施設の完成

山屋地区連合会事務局長 押切明弘

創立百三十五年の歴史あるおらだの学校、山屋小学校。児童生徒の減少から、保護者と地域が市教育委員会と協議のうえ、平成二十二年三月閉校し、新庄小学校と統合することになりました。

今まで地域行事の中心にいつでも学校がありました。おらだの学校が無くなることで、地区住民はつらく寂しい思いをしました。が、跡地利用について、地区のアンケート結果を教育委員会に提出し、地域の思いを酌んでいただいた施設が近く完成します。

この施設は市内はもちろん、市外からの利用者が多ければ地域のためにもなると思います。例えば、宿泊者に、地元の安心、安全で新鮮な食材も提供できますし、年何回かのイベントを地区民と利用者との間で行うことで、新しい公共施設の運営方法になるでしょう。新しい施設との関わりができれば、必然的に住民も足を運ぶことになり、利用者にも山屋地区の自然環境、人柄等の良さを理解してもらえば何度も訪れていただけたらと思います。今後、生まれ変わったおらだの学校が一年中にぎわい、新庄の newName になると確信しています。



しんじよさ、あべ! 部長(しんじょうPR大使)

# 三浦友加さん

## 任務開始しました!



8月8日(吉本興業株式会社東京本部) 就任記者発表には、先輩「しんじよさ、あべ! 部長」芸人今田耕司さんも駆けつけました。集まった記者らに、泉田里芋を使った、三浦さんお手製の芋煮をふるまいました。



8月16日(新庄市役所) 着任挨拶。地元のトルコぎょうが手渡されました。「家の床の間に飾りました。可憐で、いい香りにうっとりです。(三浦)」



8月16日~(上茶屋町) 山車制作に参加しました。「自分の顔に似せてリアルに作るうと頑張りました。その分時間もかかってしまいました。(三浦)」



8月17日(ふるさと歴史センター) 縄ないやわらじ編みなどを、伊藤佐吉さんに習いました。「筋が良いと言われ感激です。自分には祖父がいますが、まるで自分のお爺さんに習っているようでした。わらじは、とても興味があり、もっと習いたいです!(三浦)」



8月25日(新庄駅前) 宵祭り、本祭り、若連や小若とともに山車行列に参加。



8月26日(戸沢神社) 鹿子踊りを真剣な眼差しで取材。「ジャンプしたりして、伝統的な踊りなのにポップな感じがしました。(三浦)」

### 三浦部長、今後もよろしくお願ひします!

三浦さんは、10月15日(土)の味覚まつりと、11月6日(日)のそばまつりにも参加の予定です。

三浦さんは新庄で様々な活動を行い、その都度インターネットでの情報発信を行っています。



YNN 山形チャンネル

「三浦友加のこぼえちゃ山形」

<http://www.ynn47.jp/yamagata/>

毎日午後10時にライブ映像配信中。ライブ映像を見ている人数によりランキングが上がり、三浦さん、山形県、そして新庄市の注目度が上がります。皆さんもぜひライブで見て、注目度アップにご協力を!! 三浦さんのブログにも注目!

「へすげだものす〜ろぼ〜や」

<http://miura-yuka.laff.jp/blog/>

新庄まつりでの活動を終えた三浦さんにお話を伺いました。

○まつりはどうでしたか?  
「熱気がすごかったです。かなりパワーを使いましたが、とても楽しく活動できました。また、新庄市での活動中、市民の皆さんがフレンドリーに接してくれ、とても歓迎されている雰囲気があったのが印象的でした。」

○予想していなかった新庄市の魅力などはありましたか?  
「皆さんが良い意味で東北人らしくないと感じました。人見知りしないというか、関西風というか…。決してアルコールのせいではありません(笑)どの飲食店でも笑顔で迎えてくれ、観光客慣れしている印象を受けました。」

○今後は、味覚まつりやそばまつりと、新庄の食をとり上げる催しが続きます。三浦さんの得意分野「食」をテーマとした活動への期待が高まりますが、その意気込みは?  
「イベントをきっかけに、新商品など開発できればうれしいです。そば屋さんはどこもおいしかったです。一般的なメニューで、ストリートに勝負していますので、女性が喜ぶような変化的メニューはどうかと思っています。女性の支持を得るだけでなく、男性や子供さんなどへの顧客の広がりも期待できるのではないのでしょうか。色々構想しています!」



# ようこそ新庄市へ



着任のあいさつ(7月28日)

新庄市では、今年二人のALT (外国語指導助手)を採用しました。アメリカのコロラド州出身で20代、日本の様々な文化に興味を持っている二人です。7月末に着任し、夏休み明け市内各中学校での英語指導にあっています。そんな二人に感想や抱負を伺ってみました。



## Kristin Osani

クリスティン・オサニさん

15歳くらいからALTになりたいと思っていたので、夢がかなってうれしいです。去年、語学ボランティアとして2カ月くらい新庄に滞在しましたが、「もっと子どもたちに教えたい」という気持ちが大きくなりました。今回はALTとして研修も受けていますので、去年よりプロフェッショナルに教えられるよう頑張りたいですね。

日本に興味を持つきっかけになったのが日本のアニメ。子どもたちとまんがの話をしています。アメリカ大学で日本語を習いましたが、もっと勉強したいと思っています。

授業では、日本とは違うアメリカ文化をいろいろ紹介して、子どもたちがアメリカに興味を持ってくれるとうれしいと思います。料理も大好きなので、アメリカの料理も教えてあげたいです。また、スポーツはあまり得意ではないけど、部活動にも参加してみたいです。応援専門になるかもしれませんが…。

去年新庄に来たのは夏でしたが、今回は冬も体験することになります。雪が多いと聞き、不安な気持ちもありますが、スノーボードにも挑戦したいです。

新庄の子どもたちはシャイで優しいと感じます。いろんな話をして、早く仲良くなりしたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



## Benjamin Epel

ベンジャミン・イーペルさん

大学で、日本の古い文学、たとえば源氏物語や平家物語などについて学び、もっと日本文化を学びたいと思ったのがALTになるきっかけでした。今は、古い文学だけでなく、少し新しい時代の日本文学にも興味があります。

新庄に来てみて最初に感じたことは、人々が皆やさしいということです。また、日本の神社仏閣が好きなのは、東京や京都などにも行きましたが、そういう大都市と違って、静かで住みやすい新庄にも魅力を感じています。アメリカにいるときは、私や家族、特に父は、自然に囲まれた自宅の庭でリラックスして過ごすのが大好きでした。新庄にいて、それに近い雰囲気があってとても気に入っています。

新庄の子どもたちは、外国人と接する機会があまりなかったせいか、外国人に慣れていない感じがしましたが、自分も日本語を学び始めたときに、日本人と接するのが少し怖く感じたので、彼らの気持ちはよく分かります。また、高校時代からテコンドーの教師をしていましたので、うまく教えることができると思っています。

子どもたちには、特に、日米の文化、考え方の違いについてぜひ教えたいと思っています。よろしくお願いいたします。

## 旬を食べる

### しんじょうの郷土料理

### いものこ汁



九十月にかけて、週末の川原はいもに会のグループでにぎわいます。いものこ汁は新庄だけでなく、山形県の秋を代表する味覚です。

#### 【材料/四人分】

- サトイモ 四〇〇グラム ● 牛肉 … 三〇〇グラム
- こんにゃく … 一枚 ● 長ネギ … 二〇〇グラム
- しょうゆ … 七〇cc ● 酒 … 四〇cc
- 砂糖 … 大さじ1 ● 水 … 八〇〇cc

#### 【作り方】

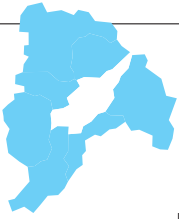
- ① サトイモは皮をむいて二口大に切る。
- ② こんにゃくは手で食べやすい大きさにちぎり、さつとゆでておく。
- ③ 長ネギは三〜四センチの長さでぶつ切りにするか、斜めに切る。
- ④ しょうゆ、砂糖、酒の半量で牛肉を煮て取り出し、サトイモとこんにゃくと水を入れてアクをとりながら煮る。
- ⑤ サトイモが煮えたら、取り出しておいた牛肉と酒を加え、ネギを加えてさつと煮て出来上がり。

#### 調理のポイント

サトイモを煮るときは、こまめにアクをとります。

このコーナーは、食生活改善推進協議会の協力により季節の郷土料理を紹介しています。食生活改善推進協議会では今年度も定期的に郷土料理教室を開催しています。詳しい日程や内容などはお問い合わせください。

◎ 詳しくは、食生活改善推進協議会事務局(健康課健康推進室)へ。☎内線516



## 地域づくりに挑戦!

東日本大震災は、死者と行方不明者合わせて2万人を越える大災害となり、その65%が60歳以上の方でした。そして、これまでに起こった大規模な災害で被害に遭った方々も、その多くが高齢者や障がい者です。このような要援護者の日頃の状況の把握や、災害が発生した時に適切かつ速やかに避難を支援する体制が整っていることが、災害による被害者を減らす上でとても重要となります。

市でも3月に「災害時要援護者避難支援プラン(全体計画)」を作成し、今年度は一人ひとりの個別計画を作成することにしていますが、すでに要援護者の支援に取り組んでいる地区を紹介します。

## 自主防災会と要援護者支援

民生委員 五十嵐 敏之

年目は、啓蒙パンフレットの全戸

班の活動は、今年で三年目に入っています。初年度は要援護高齢者の把握と、登録者台帳や住宅所在図を整備しました。二

が、高齢者対策を練っておく必要があると考えています。

組織は、本部の下に「情報班」や「消火班」など七つの班があり、

組織は、本部の下に「情報班」や「消火班」など七つの班があり、

に認証されました。

動のとても盛んなところです。

## 地域づくり通信

第6号

松町自主防災会 組織体制と役割

	平常時の役割	災害発生時の役割
	情報班	情報収集と伝達 広報活動
消火班	器具や消防水利点検 防火広報	初期消火活動
避難誘導班	集合所や避難路の点検	避難誘導活動
救出救護班	資機材調達と点検	負傷者の救出 救護活動
要援護者班	災害時要援護者の把握と 対応の検討	災害時要援護者の安全な 避難誘導
給水・給食班	器具の点検	水や食料の配分 炊き出しなど
防犯・巡回班	防犯灯の点検 防犯パトロール	防犯巡回活動

は不安かと思っ

配布、登録者の支援優先順位の導

在のヤマサ薬局の場所には、大

は不明である。

明治期、官公庁・学校等を

54 老舗5555(11)

新庄市史

ひとくち

郷土の歴史



# 今月の本



9月の  
おすすめ

## 『下町ロケット』 池井戸 潤 / 著

町工場が取得した最先端特許をめぐる、中小企業vs大企業の熱い戦い! 大企業の思惑に翻弄され、倒産の危機にあった個製作所が、ロケットエンジンの供給に挑む! 町工場の技術、意地、そして情熱を胸に、大宇宙への夢を紡ぐ男たちの熱きドラマ。第145回直木賞受賞作。

## 今月のテーマ展示 『健康管理』

長かった夏もようやく終わり、すがすがしい秋がやってきました。冷たい物の食べすぎや、夏の暑さで体が疲れていませんか? しっかり体をケアして、これからの毎日を元気に過ごしましょう。

### ● 児童図書 ●

- びっくり!ジャンボ昆虫園.....岡島 秀治
- もぐらのたぐいはびん.....斉藤 洋
- 夏のサイン.....最上 一平
- ぺんぎんのたまごにいちゃん.....あきやまただし
- ほんとうにあった12の怖い話...スーザン・ブライス
- ペネロペ イースターエッグをさがす...アン・グットマン
- みずちやぼん.....新井 洋行
- ノタンズプーンたんたんたん.....キヨノサチコ
- へちまのへーたるー.....二宮由紀子

### ● 一般図書 ●

- 殺意は必ず三度ある.....東川 篤哉
- 明日のマーチ.....石田 衣良
- 母のはなし.....群 ようこ
- ハリー・ポッターへの旅 ~イギリス&物語探訪ガイド~  
.....MOE編集部
- 密室晩餐会.....二階堂黎人
- 死ぬ気まんまん.....佐野 洋子
- 代表作時代小説 平成23年度 想い想われ、情けが沁みる.....日本文藝家協会
- 湯女の櫛 ~備前風呂屋怪談~.....岩井志麻子
- 龍馬奔る ~少年篇~.....山本 一力
- 天上紅蓮.....渡辺 淳一
- 質素な性格 欲は小さく野菊のごとく...吉行 和子
- すぐそのたからもの.....よしもとばなな
- 日本の作家60人太鼓判!のお取り寄せ...小説現代編集部
- 四物語.....西尾 維新
- きょう一日。~非常時を生き抜く究極の五木ソッド55~  
.....五木 寛之
- 「次」にひかえるM9超巨大地震.....ニュートンプレス
- 震災と心のケア 子どもの心の傷がPTSDになる前に  
.....片山 和子

■開館時間:午前10時~午後6時  
■休館日:毎週月曜日  
◎市立図書館 ☎22-2189



# わらすこ すぐすくナビ

WARASUKO HIROBA

生活リズムを見直そう!

長期の休みなどで、生活リズムが乱れていませんか?

夜寝る時間が遅いと、自律神経が不安定になり、心身ともに調和がとれなくなりやすくなります。次の点に気を付けて生活リズムを整え、大人も子どもも健康に過ごしましょう。

- 早寝・早起き
- 水で洗顔
- 家族で朝食
- 食後の歯みがき
- 余裕をもって排便

朝食は毎日決まった時間に食べよう!

人がもともと持っている24時間周期のリズム(サーカディアンリズム)は朝食を食べることでスタートするため、朝食を食べないとこのリズムが乱れます。また、朝食を摂らないと、体温、特に脳の温度が上昇しないためにあくびが出た



ン分泌のリズムが乱れて体内脂肪がたまりやすい状態になることから、肥満になりやすいとも言われています。

朝食は午前中の活動に必要なエネルギー源です。脳と体を十分に働かせられるよう、しっかり食べましょう。

## 9月1日は「防災の日」 9月9日は「救急の日」

もしもの時に備えて、非常用品の準備や、救急用品の点検をしておきましょう。

## 9月の遊びの広場と巡回相談

13・27日(火)	保健センター
15日(木)	本合海児童センター
16日(金)	升形児童館
20日(火)	わくわく新庄

## これからの予定

9月22日(木)  
第5回めぐめぐ子育て講座  
「森林浴を楽しもう!」  
場所/遊学の森

9月29日(木)  
第6回めぐめぐ子育て講座  
「小児救急」

◎地域子育て支援センター(わらすこ広場内) ☎22-5115

正二年、大きなガラス窓を巡らした総二階瓦葺きのハイカラな菓子店・大正堂ができ、多くの客をひきつけた。  
明治四十四年の新庄大火を契機に、耐火性のある蔵店も建てられるようになった。深田菓子店の蔵店は、大正五年ごろ、北本町の三吉屋呉服店は明治四十四年ごろ、清水川町の福井呉服店は明治三十四年の創業といつが、大正一年に瓦葺の重厚な蔵造りに改装した。  
万場町の清水呉服店、同町新国亭に入るところの富士屋呉服店も大正二年以前の蔵店で、同店向かい側の田沢小間物店、下万場町の伊東呉服店等も繁盛した店であった。このころ、万場町では夜ごと演歌師がバイオリン片手に流行歌を流して歩いたといつ。

### ■成人式で友だちと再会(8月14日/市民プラザ)



新成人の門出を祝う成人式が行われました。今年の新成人は445人。式典には299人が参加し、代表の中嶋祐樹さんが成人の誓いを述べました。式典が終わると中学校ごとに記念写真を撮影。懐かしい友との再会に歓声があがっていました。

### ■第1回日本の伝統まつりポスターコンクール開催!



全国各地の伝統まつりを対象に実施した「第1回日本の伝統まつりポスターコンクール」。100点以上の応募の中から優秀作品が選ばれ、新庄まつりに合わせて8月24日に表彰式が行われました。式には、審査委員長の吉村作治早稲田大学名誉教授も出席し講評をいただきました。

### ■こども夏のつどい(8月2日/市立図書館)



市立図書館で「こども夏のつどい」を開催しました。かやのみ会、新庄南高図書委員、ガールスカウトが大型紙芝居や絵巻絵本を表現豊かに読み上げると、参加した子どもたちは、真剣な面持ちで聞き入り、お話の世界に引き込まれていました。



### ■猛暑に雪体験(8月6日/雪氷防災研究センター)

雪氷防災研究センター新庄支所の研究について、広く市民に知ってもらおうと施設の一般公開が行われました。参加者は、センターの活動紹介や世界最大規模の人工降雪システムを見学。30度を超える猛暑から、防寒着を着込んでの真冬体験に子どもたちは大喜びでした。

### ■消防団活動に協力しています

(8月12日/市役所)

消防団活動に積極的に協力している事業所を、消防団協力事業所に認定し表示証を交付しました。今回認定を受けたのは、丸充建設(株)(佐藤雅紀代表取締役)【写真左】と大場土木工業(株)(大場隆弘代表取締役)【写真右】。今回を合わせて、これまでに15事業所が認定されました。



# まじょう まちかど

季節の話題・市政の動き・催しなどを紹介します

## TOPICS



■友好自治体高萩市との児童交流  
で相互訪問



▲新庄市の児童が高萩市を訪問し、高萩まつりに参加(7月30日)



▲高萩市と新庄市の児童が交流  
(8月20日/神室少年自然の家)



■県ジュニア駅伝競走大会で新庄  
チーム男子34チーム中5位入賞!

(8月7日/上山市蔵王坊平)

- 1区・八鍬 凌(日新中3年)
- 2区・石山立晟(新庄小6年)
- 3区・加藤 廉(日新中3年)
- 4区・佐々木翔太郎(沼田小6年)
- 5区・三浦祥吾(日新中3年)

TOPICS  
まちかど



■震災復興チャリティーでプロバスケットチーム「仙台89ERS」が来新(8月28日/市体育館)



■恒久平和を願って(8月15日/市役所)

世界の恒久平和を願い、平和都市宣言旗の掲揚式を開催しました。新庄北高の生徒4人の先導で参加者全員が「新庄市平和都市宣言」を唱和し、新しい平和都市宣言旗を掲揚したほか、平和祈念に加え、東日本大震災の犠牲者への追悼の意も込めた黙祷がささげられました。



■市に善意の寄付

市の学校給食調理・配送業務などを行っている(株)ベスト(代表取締役・斎藤秀紀/本社・鶴岡市)より、小中学校児童生徒の育成や神室荘の環境整備に役立ててほしいと、市に100万円の寄付をいただきました。その功績に対し、市より感謝状が贈呈されました。



3



2



1

1 石川巖さん(城西町)が天満宮等の記録写真展を開催

(8月10日~26日/市民プラザ)

2 第5回新庄もがみ交流盆踊り大会

(8月10日/ゆめりあ)

3 市民セミナー「放射線を学ぶ」開催

(8月22日/市民プラザ)

# 9月の おしらせ

イベントや行政案内など  
まちの情報を紹介するページです

## 第33回市総合体育大会 のお知らせ

ソフトテニス中学の部  
▼とき 10月2日(日)午前8時～  
午後5時

▼ところ 東山テニスコート  
▼申し込み 9月22日(木)まで  
▼とき 10月10日(月)午前8時～  
午後3時 ▼ところ 市武道館

▼申し込み 9月23日(金)まで  
剣道  
▼とき 10月10日(月)午前7時  
30分～午後5時

▼ところ 日新小学校体育館  
▼申し込み 9月30日(火)まで  
◎(財)新庄市体育協会  
☎23-29978

## 映画「星の国から孫ふたり」 自閉症児の贈り物」上映会

自閉症などの発達障がいについて  
多くの方に知っていただくた

## 「山形県救急電話相談」について

県は、急な病気などへの対応を看護師が電話で相談に応じる「救急電話相談」を実施しています。急な発症にどう対応したらよいか、病院へ行く必要があるかどうかなどを相談できます。  
●相談日時 毎日午後7時～10時  
●相談電話番号 「大人の救急電話相談(15歳以上)」☎#8500または023-633-0799、「小児救急電話相談(15歳未満)」☎#8000または023-633-0299  
◎詳しくは、県健康福祉部地域医療対策課へ。  
☎023-630-3366

## 歯の長寿者を表彰します

●資格 満80歳(平成23年12月31日現在)以上で20本以上自分の歯が残っている市民  
●応募方法 市内の歯科医院で残歯数のチェックを受けてください(無料です)。  
●申し込み 10月31日まで  
●表彰 11月19日(土)「8020表彰・むし歯サミットin新庄」で賞状と記念品を授与します。※過去に受賞した方は該当しません。  
◎詳しくは、健康課健康推進室へ。☎内線513

## 平成23年社会生活基本調査について

総務省と県は、10月20日現在で社会生活基本調査を実施します。調査対象地域のお宅には、世帯確認のため、9月中旬に調査員が訪問します。ご協力をお願いします。  
●調査対象地域 栄町7番地、五日町1362～6929、十日町5868～5918、大字松本52～306、大字升形165～1829、大字飛田1098  
◎詳しくは、総合政策課情報統計室へ。  
☎内線425・426

## 生涯スポーツ課より お知らせ

め、無料上映会を開催します。  
▼とき 10月1日(土)午後1時  
30分開場  
▼ところ 市民プラザ大ホール  
※託児あり。要申込み。  
◎特定非営利活動法人くれよんはつす  
☎23-6681

## 第49回新庄ロードレース大会

▼とき 10月2日(日)午前9時  
～雨天決行 ▼ところ 市陸上  
競技場 ▼種目 男子10km・5  
km、中学男子・高校女子・一般  
女子3km、小学生男女3～6  
年生1km ▼参加費 小・中学生  
500円、高校生・一般700  
円 ▼申し込み 所定の申込書  
を9月22日(木)まで提出してく  
ださい。

## 第15回いもコンラン&ウオーキング

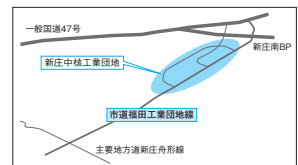
▼とき 10月9日(日)午前9時40  
分開場 ▼ところ 陸上競技場

## スライムマイスター養成 (初級)無料講座開催

▼対象 高校生以上  
▼とき 10月1日(土)、11日(火)、15  
日(土)の全3回  
▼ところ 最上教育研究センタ  
ー ▼内容 実験指導、化学実験  
安全講座など  
▼申し込み 9月16日(金)まで電  
話で。先着20人 ※全3回受  
講者は「スライムマイスター(初  
級)」に認定されます。  
◎最上教育研究センター  
☎22-1033

## 市道福田工業団地線全線供用開始

未供用区間の工事が終了し、8月10日  
全線供用開始しました。



◎詳しくは、都市整備課都市計画室へ。☎内線526

## 第2回楽しく運動して 復興支援!! 軽運動講座

▼対象 一般・親子 ▼とき 9月  
25日(日)午後1時30分～  
▼ところ わくわく新庄  
▼内容 フラダンスやヨガなど  
※当日東日本大震災被災地へ  
の義援金を募ります。  
▼参加費 無料(保険料別途  
500円) ▼申し込み ファクス  
か電子メールで。  
FAX 32-0663 メール jahas\_@info@yahoo.co.jp  
◎ろはすの会・海藤  
☎32-0963

## 美しい山形・最上川フォーラム ～美しい気な山形(河川)を愛する～

▼とき 10月1日(土)午後1時  
30分～4時  
▼ところ 山形グランドホテル  
▼内容 記念講演(宮坂不二夫  
氏)記念鼎談(県副知事、ダニエ

# リニューアルオープン

こちら新庄内 CREA/Comete (クリア/コメット) は、これまで以上にお買  
い物を楽しんでいただくために、店内を改装してリニューアルオープン致します。

9月10日(土)10:00 OPEN

CREA/Comete 新庄市本町4-33こちら新庄1階  
☎0233-29-3868

¥3,000以上お買い上げの方、先着100名様にハルティプレゼント!

《ノバルティ対象期間》  
9月10日(土)～15日(木)

アニマル柄バッグハンガー



大切なバッグの置き場に困った  
ときに役立つ便利アイテム♪



## 全国一斉成年後見 無料相談会開催

○9月19日(月)午前10時～午後4時  
○電話相談 023-615-0557  
◎山形県司法書士会 ☎023-623-7054

## イタリア料理教室開催

○9月24日(土)午後4時～  
○市民プラザ調理室 ○材料費 2,500円  
○講師 笹美知子さん  
○申し込み 9月22日(木)まで電話で  
○事務局・笹 ☎22-2086

## 「公共性を考える・地域社会の創造をめざして」講演会

○9月24日(土)午後1時～2時  
○市民プラザ3階小ホール  
○講師 新田孝彦氏(北海道大学理事)  
○参加無料 ○申し込み 事前に電話で  
○最上地区自動車整備業団体 ☎22-9850

## 催しなど

### わくわく新庄よりお知らせ

#### わくわくヨガ教室

●とき 10月6日(休)～平成24年3月29日(休)毎週木曜日午後7時15分～8時30分(全24回)  
●ところ わくわく新庄  
●講師 海藤直子さん  
●月会費 2,000円(保険料含む)体験は500円(一人1回のみ)  
●申し込み 9月28日(木)まで。定員15人  
●持ち物 バスタオル、運動着など

#### 第12回わくわく新庄ラジボール卓球大会

●とき 10月23日(日)午前9時～  
●ところ わくわく新庄  
●種目 男女別シングルス・ふれあいダブルス  
●参加費 1,000円(昼食・保険代など)  
●申し込み 参加費を添えて、9月30日(金)まで。  
◎詳しくは、わくわく新庄へ。☎23-0197

#### 市民雪セミナー「冬を乗り越える健康づくり」

～ストレッチングで体を上手に管理～  
●とき 10月2日(日)午後2時～  
●ところ 雪の里情報館2階雪国文化ホール  
●内容 講話と実技指導 ●講師 後藤一志氏(最上町健康クラブスポーツトレーナー)  
●受講料 無料 ※バスタオル(敷物用)とフェイスタオルを持参してください。  
◎詳しくは、雪の里情報館へ。☎22-7891

#### 平成23年度やまがた社会貢献基金採択事業 「新庄のまち並みを未来につなぐプロジェクト」

エコロジーガーデンの建物群や数多い立木等と一緒に学びませんか。  
●とき 10月6日(休)、10月13日(休)いずれも午前10時～午後4時 ●ところ エコロジーガーデン ●申し込み 10月3日(月)まで電話で。先着20人。  
◎詳しくは、特定非営利活動法人NPOもがみ・沼野へ。☎090-6687-1007

#### 最上伝統野菜を使った料理教室

最上地域の貴重な在来作物(最上伝統野菜)を使った料理講習会を開催します。  
●とき 9月22日(木)午前10時～午後1時30分  
●ところ 市民プラザ調理実習室  
●講師 最上伝統野菜推進協議会料理研究部会員 ●参加費 1,000円(材料代) ●申し込み 9月16日(金)まで電話で。定員30人(多数の場合は抽選)。  
◎詳しくは、最上総合支庁産業経済企画課へ。☎29-1307

▼調整会議【市体育館】10月11日(火)【市民球場】10月12日(水)【市武道館】10月13日(木)いずれも午後6時30分  
▼ところ 市体育館会議室  
▼利用調整期間 11月～平成

#### 市体育館・市民球場・武道館定期使用調整会議

◎新庄警察署警務課  
☎22-0110

#### 犯罪被害者支援チャリティバザー開催

▼とき 9月23日(金)午後0時30分～5時  
▼ところ ゆめりあ  
▼バザー出展受付 9月20日(火)まで新庄警察署警務課にて

◎美しい山形・最上川フォーラム事務局  
☎023-6666-3737

ル・カール氏(美しい山形・最上川フォーラム会長) ▼参加費 無料  
▼申し込み 9月26日(月)まで電話で。

▼対象 県内在住の小学3・4年生で、体力測定や実技選考会を行い、30人程度認定しま

#### YAMAGATAドリームキッズ第3期生募集

県は、国際大会などで活躍できるスポーツ選手輩出を目指す、YAMAGATAドリームキッズの第3期生募集しています。

◎すぽーていあ ☎23-1000

#### 「すぽーていあ」定期使用調整会議のお知らせ

▼調整会議 10月4日(火)午後6時30分  
▼ところ すぽーていあ  
▼利用調整期間 11月～平成24年3月分  
▼申し込み 9月19日(月)まで

◎市施設振興公社  
☎23-7666

24年3月分

▼申し込み 9月30日(金)まで

す。※申込書は各小学校にあります。  
◎スポーツタレント発掘事業実行委員会事務局  
☎023-615-6415

#### 弁護士による住まいに関する無料法律相談

▼とき 9月15日(木)午後1時30分～4時  
▼ところ 最上総合支庁5階505会議室  
▼申し込み 事前に電話で(先着4人)

◎県営住宅指定管理者(株)西王不動産 ☎23-3116

#### 国民年金保険料の納付には口座振替や前納がおすすめてです

国民年金保険料は、口座振替を利用されると納め忘れがなく安心です。また、当月振替や前納(4月から翌3月までの1年分、または4月から9月まで・10月から3月までの6


#### 自衛官等募集

▼種目 ①看護学生／高卒予定／24歳未満 ②防衛大学校／高卒予定／21歳未満、③防衛医科大学校／高卒予定／21歳未満  
▼申し込み 9月30日(金)まで

◎自衛隊新庄地域事務所  
☎22-5057

◎新庄年金事務所  
☎22-2050

か月分)にすると保険料が割引される制度があります(平成23年度は1年前納で年間3,780円の割引)。翌年度の1年前納の申込締め切りは、例年2月末までとなっています。希望する場合は、①保険料納付書②預金通帳③通帳届出印をお持ちのうえ、金融機関または年金事務所へ申し込みしてください。



## みちのく政宗デンタルクリニック

### 新庄診療所

院長 鈴木 篤太郎

インプラント無料相談  
随時行っております。

診療科目

・ 歯科 ・ 小児歯科 ・ 歯科口腔外科 ・ 矯正歯科

◆ 休診日が、毎週火曜日と祝祭日に変更になりました。

〒996-0001 新庄市五日町字清水川1292-1 イオンタウン新庄ショッピングセンター内 TEL・FAX 32-0755



佐吉爺の  
さきちい

民具

最終回

あれこれ



雪とまつりのふるさと新庄の先人たちは、知恵と技術を凝縮して機能的で美しい民具をつくりだし、その文化は、現代も継承されています。民具の使い方や機能について、当時の暮らしぶりなどをまじえて紹介します。

解説:伊藤佐吉さん(仁田山)



▲9月25日(日)まで産直まゆの郷にてかかし祭り出品作品を展示中です。「新庄民具調査会」として参加した佐吉爺のかかしも展示されていますので、ご覧ください。

一年は一念縁ぎ  
一穂が五穀の稔  
今日の喜び

今年も暑い日が続き、本当に大変だったが、田んぼの稲穂も黄金波打つ季節となり、夜も大分涼しくなった。九月一日は二十日、台風の日。村人は神風といって風日祭りをし、お祈りをした。

小鳥や雀が稲穂に群がるので、昔は黄金田んぼに案山子が立っていた。鳴子なる雀とぶ、山田の中の本足の案山子。天気も良いのにミノ笠つけて朝から晩まで、ただ立ち通し。歩けないのか山田の案山子と歌ったものだ。今は、田んぼの中の案山子は見られなくなり、仮装行列のような案山子まつりに変わった。爺も昔懐かしい、本足の案山子を会場に立てています。

そんな話をしていると中甸となり、そろそろと早生稲や明年の種もみの刈り取り時季になる。昔から今も変わらず、田植えが終わって百日過ぎると刈

り取りに入った。

朝露のある早、時間から、腰を曲げて一日中手鎌で刈ると、手の指も赤くなり痛くなる。昭和四十年頃より手押し刈り取り機が出て、だんだん改良されて、エンジン付きも出回り始め、今はコンバインで刈り取り。

秋の日は短い。刈り取った青稲を稲杭に掛け、夕暮れに東の山に月が見えるまで働いた。また、クロ立といつて、束根を上に通先を下にして青稲を畔に立て、五日乾かしてから稲杭に掛けた。青稲を杭に掛けたのを十日ぐら、干して「杭返し」をする。

大昔我が国は稷穂の国といってお米一粒でも大事だったが、現代は米離れて飽食時代、世も変わった。爺たちは米は命の親と言われて、一粒でも粗末にすると目がつぶれると教えられた。爺の時代は米が大事、稲ワラも大事であった。農家では米俵などワラで何でも作る。牛馬の冬場の食べ物にもなる。

秋の彼岸は女たちは忙しい。彼岸の入りには小豆だんご作り。中日に小豆ぼた餅、送り日には黄粉だんごを作る。萩野の中日祭りは近郷にない大祭りであった。お寺の宝積寺前の舞台では、忠臣蔵や義経千本桜などが上演され、出店が何十も出てにぎやかで、夜遅くまで祭り見物であった。

爺の思い出話、一年間読んでいただきありがとうございました。次がら子ども遊びのごども語つかな。

秋晴に出羽富士眺め稲を刈る

表紙の 写真

まつりの名残を惜しんで 一飾り山車

8月26日、新庄まつり3日間のフィナーレは飾り山車として、全20台の山車が中心商店街に集結しました。

この日は、行く夏を惜しむかのように空は晴れ、気温も上昇。山車のそばでは、囃子若連が汗だくになりながら、演奏を披露しました。熱気あふれる演奏に、集まった観客も拍手喝采。まつりは最後まで大いに盛り上がりました。



7

月末現在の新庄人

38,739人(39,183人)

女 20,220人(20,450人)

男 18,519人(18,733人)

世帯数 13,465世帯(13,500世帯)

7月の異動

出生 25人 (27人)

死亡 34人 (29人)

転入 96人 (70人)

転出 101人 (67人)

※( )は1年前の住民基本台帳



環境にやさしい植物油インキを使用しています